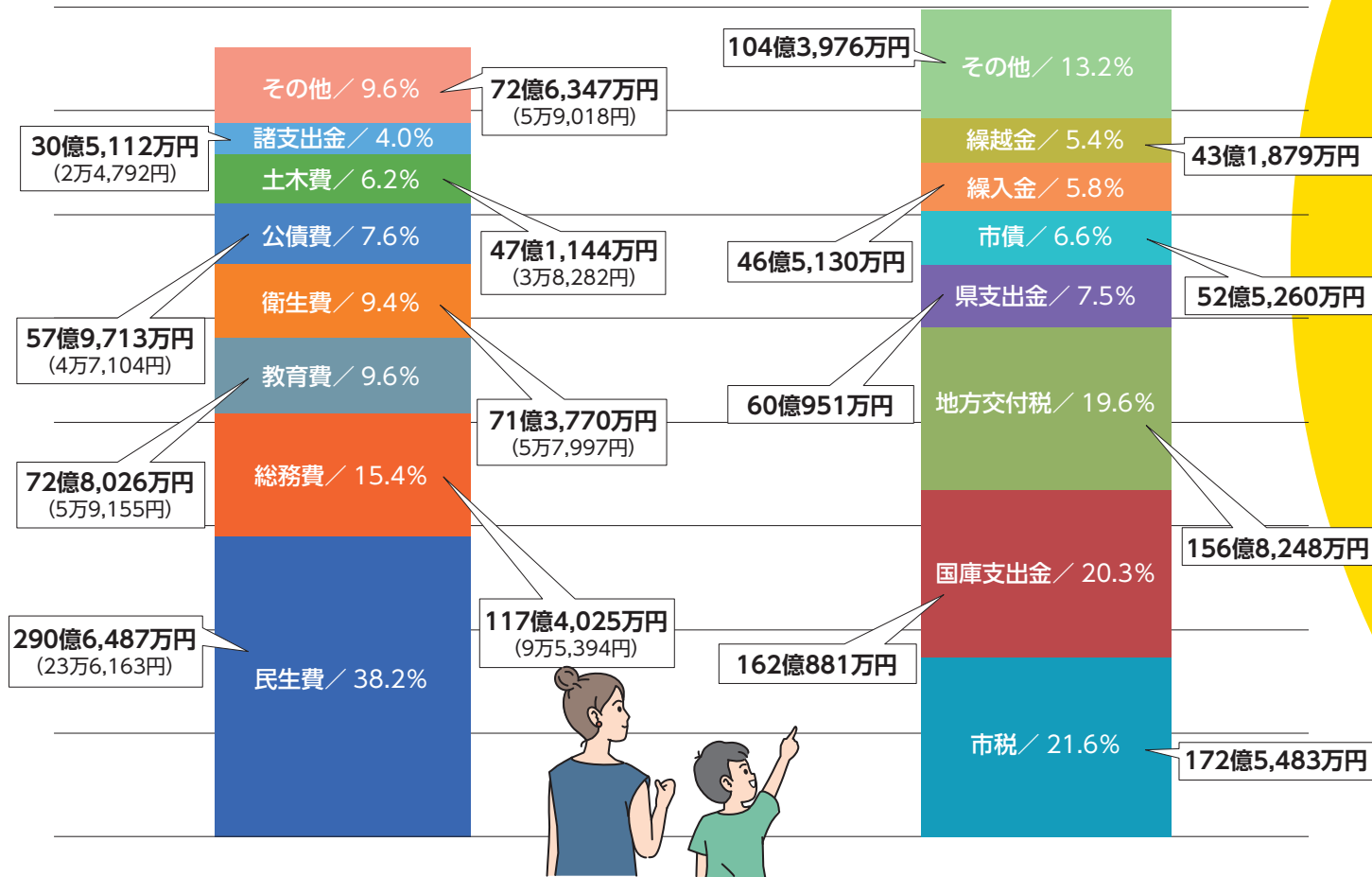


令和6年度 一般会計の決算

歳出 760億4,624万円

()内は市民一人当たりの金額

歳入 798億1,808万円



用語説明 (歳入)

市税 市税や固定資産税などに納められた税金
国庫支出金 市が行う特定の事業に対して、国から交付されたお金
地方交付税 地方公共団体が等しく行政サービスを提供できるよう、一定の基準により国から自治体に配分された税金
県支出金 市が行う特定の事業に対して、県から交付されたお金
市債 市が行う公共事業などの財源として、財政負担の平準化および世代間の負担の公平などを図るため、国などから借りたお金
繰入金 基金(市の貯金)や特別会計などから繰り入れられたお金
繰越金 前年度から繰り越されたお金
その他 地方消費税交付金、使用料及び手数料、諸収入、地方譲与税、分担金及び負担金、財産収入、寄附金として納められたお金など

用語説明 (歳出)

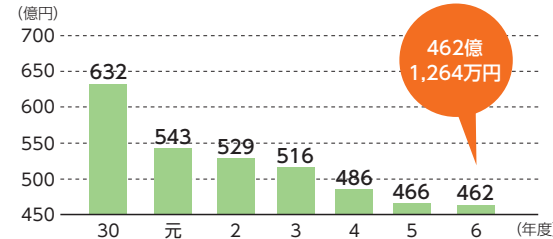
民生費 高齢者や障がい者、児童の福祉推進などに使われたお金
総務費 総務人事管理、財産管理、企画調整、地域振興、税務事務などに使われたお金
教育費 公立学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進などに使われたお金
衛生費 ごみ、尿の処理や健康増進事業などに使われたお金
公債費 これまでに公共事業などの財源として借り入れた借金(市債)の返済に使われたお金
土木費 道路や公園、公営住宅などの整備に使われたお金
諸支出金 公営企業会計への支出金に使われたお金
その他 農林水産業費、消防費、商工費、災害復旧費、議会費、労働費に使われたお金

◎財産の状況(令和7年3月31日現在)

区分		現在高
基金	土地	3,664ha
	(うち市有林)	(2,018ha)
	建物	897,459㎡
	計	284億4,644万円
	財政調整基金	61億7,675万円
内訳	減債基金	32億3,595万円
	特定建設事業基金	56億9,749万円
	その他の基金	133億3,625万円
有価証券		2億4,150万円

(企業会計を除く)

◎市債残高の推移(令和6年度末現在)



※平成30年度までは下水道分を含む。(企業会計を除く)

まちの家計簿

霧島市の
財政事情を
公表します



皆

さんは給料などの入ってくるお金と、食費・光熱水費・教育費などの出ていくお金を計算しながら家計をやりくりしていると思います。

霧島市では、1年間にいくらかお金が入ってくるか(歳入)と、どの仕事にいくらかお金を使うか(歳出)を見積もり、計画を立てて運営しています。このようなお金の計画を見積もったものを「予算」、予算に基づいてやりくりした結果を「決算」といいます。

決算剰余金は法令に基づき、翌年度以降に積み立てなどを行うほか、各種事業の財源として活用します。

令

和6年度の一般会計の決算は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の実施や(仮称)市クリーンセンター整備・運営事業などにより、歳入が前年度に対して2・9%増の総額798億1,808万円、歳出が前年度に対して3・8%増の総額760億4,624万円となりしました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は37億7,184万円の黒字、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支(決算剰余)は30億9,764万円

一般会計で管理する財産には土地・建物のほか、貯金に当たる「基金」があります。年度間の財源調整や特定の目的のための資金として積み立てています。年度間の財源調整には、借金である「市債」を発行する方法もあります。長期間利用する施設建設のため、次世代にも費用を負担してもらうような場合に有効な手段で、後の返済が大きな負担とならないよう計画的な発行に努めており、合併以降は残高が減少しています。

市民一人当たりに使ったお金は

令和7年1月1日現在の人口
 歳出決算額 760億4,624万円 ÷ 123,071人
 = **61万7,905円** でした。

令和7年度上半期（9月30日現在）の財政状況

ここでは今年度上半期の財政状況をお知らせします。
一般会計予算現額965億4,404万円に対し、収入率が34.6%、執行率が33.8%となっています。

◎一般会計（歳入）

	予算現額	収入済額	予算構成比	収入率
国庫支出金	218億9,951万円	41億4,310万円	22.7%	18.9%
市 税	168億1,320万円	106億8,067万円	17.4%	63.5%
市 債	161億3,350万円	0円	16.7%	0.0%
地方交付税	133億 円	101億2,952万円	13.8%	76.2%
県 支 出 金	95億9,330万円	3億8,557万円	9.9%	4.0%
繰 入 金	82億2,715万円	0円	8.5%	0.0%
地方消費税交付金	31億 円	19億8,856万円	3.2%	64.1%
そ の 他	74億7,738万円	60億7,747万円	7.8%	81.3%
歳入合計	965億4,404万円	334億 489万円	100.0%	34.6%

◎一般会計（歳出）

	予算現額	支出済額	予算構成比	執行率
民 生 費	311億5,613万円	122億7,183万円	32.3%	39.4%
衛 生 費	160億2,037万円	57億5,757万円	16.6%	35.9%
災害復旧費	104億3,360万円	2億3,500万円	10.8%	2.3%
総 務 費	95億7,954万円	29億2,103万円	9.9%	30.5%
教 育 費	91億5,048万円	30億4,570万円	9.5%	33.3%
土 木 費	60億5,492万円	17億5,770万円	6.3%	29.0%
公 債 費	60億1,671万円	29億 988万円	6.2%	48.4%
そ の 他	81億3,229万円	37億1,925万円	8.4%	45.7%
歳出合計	965億4,404万円	326億1,796万円	100.0%	33.8%

◎特別会計

会 計 名	予 算 現 額	歳 入		歳 出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	142億1,861万円	55億9,513万円	39.4%	53億8,434万円	37.9%
後期高齢者医療	19億6,516万円	7億3,609万円	37.5%	7億 942万円	36.1%
介 護 保 険	116億9,887万円	49億5,153万円	42.3%	46億9,613万円	40.1%
交通災害共済	1,798万円	2,825万円	157.1%	226万円	12.6%
温 泉 供 給	1億1,380万円	3,774万円	33.2%	4,286万円	37.7%

◎財産と市債の状況（企業会計を除く）

区 分	現 在 高	一人当たり現在高
土 地 （うち市有林）	3,664ha 2,018ha	0.030ha 0.016ha
建 物	898,037㎡	7㎡
基 金	281億 824万円	229,565円
内訳	積立基金	245億5,398万円
	その他の基金	35億5,426万円
有価証券	2億4,150万円	1,972円
市 債	434億 656万円	354,510円

※一人当たり現在高は、同日現在の住民基本台帳人口122,441人で除して算出したものです。

◎企業会計

会 計 名		収益的収入・支出				資本的収入・支出			
		収 入	収入率	支 出	執行率	収 入	収入率	支 出	執行率
水 道 事 業	予算額	25億3,207万円	44.3%	20億1,885万円	19.6%	18億3,560万円	0.0%	40億6,271万円	31.8%
	収入済額または執行済額	11億2,079万円		3億9,668万円		0円		12億9,298万円	
工業用水道事業	予算額	2,720万円	10.9%	2,720万円	13.9%	0円	-	3,224万円	0.0%
	収入済額または執行済額	296万円		377万円		0円		0円	
下水道事業	予算額	14億8,504万円	50.9%	12億8,179万円	14.5%	35億6,362万円	2.7%	40億2,830万円	10.2%
	収入済額または執行済額	7億5,615万円		1億8,537万円		9,611万円		4億1,153万円	
病 院 事 業	予算額	89億6,919万円	42.9%	99億2,744万円	39.5%	12億8,142万円	17.9%	15億5,048万円	34.0%
	収入済額または執行済額	38億4,390万円		39億2,393万円		2億2,892万円		5億2,691万円	

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。

霧島市では、年度ごとの「まちの家計」の収支を保ちながら、将来にわたり持続的な財政運営ができるよう取り組んできました。

今後も限られた財源を有効活用するために、既にある事業の効果や効率性などを常に検証した上で、内容の見直しを図り、節減・合理化の取り組みを進めます。

これからも市民の皆さんが安心して暮らすことができるよう、身の丈に合った健全な財政運営に努めていきます。

問＝財政課 ☎(64)0917

過去の財政事情はホームページに掲載しています。

令和6年度 特別・企業会計の決算

霧島市には、五つの特別会計と四つの企業会計があります。決算状況は表のとおりです。

◎特別会計

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引
国 民 健 康 保 険	139億7,544万円	139億1,992万円	5,552万円
後 期 高 齢 者 医 療	19億2,873万円	19億2,038万円	835万円
介 護 保 険	119億 136万円	115億3,328万円	3億6,808万円
交 通 災 害 共 済	3,691万円	1,144万円	2,547万円
温 泉 供 給	7,467万円	7,085万円	382万円
計	279億1,711万円	274億5,587万円	4億6,124万円

◎企業会計

会 計 名	収益的収入・支出		資本的収入・支出	
	収 入	支 出	収 入	支 出
水 道 事 業	25億 842万円	17億5,247万円	10億2,271万円	23億 803万円
工業用水道事業	2,755万円	2,462万円	0円	0円
下 水 道 事 業	13億9,661万円	11億 96万円	11億5,198万円	17億1,659万円
病 院 事 業	79億8,914万円	88億2,163万円	100億3,191万円	102億4,526万円
計	119億2,172万円	116億9,968万円	122億 660万円	142億6,988万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。

用語説明

収益的収入・支出／企業の経営活動に伴って発生する収益と費用（料金収入、人件費など）
資本的収入・支出／将来の経営活動に備えて行う建設改良などに関する費用とその財源となる収入

「市」のお金が足りているか」
「借金をし過ぎていないか」など、市の財政が健全かどうかを判断する物差しとして、各種指標（下表）があります。
例えば、削減が難しい義務的経費などの経常的な支出（固定的に支出されるお金）が、市税など経常的な収入（安定的に確保できる見込みのお金）に占める割合を示す「経常収支比率」は、前年度と比べて0・6ポイント改善し、87・2%となりました。
国が法で定めている「健全化判断比率」関係では、財政規模に占める借入金返済額の割合を示す「実質公債費比率」が前年度と比べて0・7ポイント改善し、5・3%となりました。一般会計と企業会計を含む全会計の実質赤字額に関する比率や、将来の実質的な財政負担の大きさを示す比率はいずれも、国が健全化を促す基準を下回っており、本市はおおむね健全な財政運営であるといえます。



◎主な指数など（決算統計、健全化法）

指 数 な ど	令和6年度	令和5年度
① 財政力指数	0.55	0.54
② 経常収支比率	87.2%	87.8%
健全化判断比率	③ 実質赤字比率	－
	④ 連結実質赤字比率	－
	⑤ 実質公債費比率	5.3%
	⑥ 将来負担比率	－
⑦ 資金不足比率	－	－

※「－」の表記は、赤字額、将来負担比率、資金不足額がないため、記載すべき比率がないことを表します。

用 語 説 明

- ① 財政力指数 地方交付税法に基づき算出した支出に対する収入の割合を指標化したもの（3年間の平均値）。一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされる。
- ② 経常収支比率 義務的経費など、削減が難しい経費がどの程度あるか指標化したもの。比率が低いほど、お金の使い道に自由度があるとされる。
- ③ 実質赤字比率 一般会計などの財政規模に対する実質赤字額の比率。（早期健全化基準：11.58%）
- ④ 連結実質赤字比率 全会計を対象とした財政規模に対する実質赤字額が資金の不足額の比率。（早期健全化基準：16.58%）
- ⑤ 実質公債費比率 財政規模に対する借入金返済額などの比率（3年間の平均値）。（早期健全化基準：25%）
- ⑥ 将来負担比率 一般会計などの借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高が、財政規模に占める比率。（早期健全化基準：350%）
- ⑦ 資金不足比率 公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率（霧島市の公営企業会計：温泉供給、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業）。（経営健全化基準：20%）

持続可能な財政運営のために

